



地域に対する肯定的な認知から、地域に対する肯定的な印象を形成する。肯定的な印象を持っている人は、土地や文化に対しても肯定的な印象を持っている傾向がある。これは、青木俊明氏の『地域に対する愛着形成の心理過程の検討』に書かれている一文だ。

「あるもの磨き」で裾野市を磨く——。裾野市から提出された課題に対し、私たち Code for SUSONO (仮) では、裾野市に対し肯定的な認知を持つ人を増やすことで愛着や誇りを抱く人を増やそうと考えた。

Wikipediaは、誰もが自由に無料で使うこ

(仮)

Code for Susono

郷土への愛着は情報から！ みんなで作るオープンデータ

静岡県裾野市

とができるサービスだ。日本のインターネットアクセスランキングで 12 位 (Similar Web 2018.12 現在) の Wikipedia に裾野市の文化財や観光名所に関する記事を書くことは、非常に効果的だ。

Wikipedia の記事には出典が必要になる。昭和31年度に創刊された『広報すその』は、裾野市の記憶と言える。紙で保存されていた広報紙をPDF化しオープンデータにする。これが Code for SUSONO (仮) の出発点だ。

活動のノウハウは Code for ふじのくから、活動への支援は裾野市から。この協働体制で、持続的な活動を続けていく。



地域に対する肯定的な認知から地域に対する肯定的な印象が形成される——。肯定的な認知を広めるため、Wikipedia の記事の充実を目指しました。その出典になる『広報すその』（昭和 31 年度創刊～平成 29 年度）を PDF 化し、オープンデータとして誰もが使えるようにしました。

Scan & Open data

『広報すその』 PDF 化&オープンデータ化



オープンデータ化した
『広報すその』

オープンデータ化（+OCR）した『広報すその』は、誰でも自由に Wikipedia の出典とすることができ——。Wikipedia の記事をみんなで楽しく書く Wikipedia Town を開催しました。取り組み参加することで、「単なる情報源」は「自分ごと」へと進化しました。

Wikipedia Town

オープンデータを利用して情報発信



Wikipedia Town で
作成した「佐野原神社」
の記事

自分たちに足りないものは、それを補ってくれる人との連携で解消する——。Wikipedia Town のノウハウなどは、静岡県東部を拠点とする Code for ふじのくにの協力を得ました。また、会場手配や機材準備、資料提供など、裾野市の協力体制も活動には欠かせません。地域の連携で課題解決に取り組みました。

Collaborate

Code for ふじのくに、裾野市と協力



活動に関わった人は、地域への愛着や誇りが増加する——。今後は、Wikipedia の記事の充実、無理なく楽しい活動の継続、地域の人を巻き込んだ活動を目指します。そして、地域の愛着・誇りの拡大、オープンガバナンスの実現を目指します。

...and more

地域の人を巻き込んだ活動へ



本日のプレゼン資料

CODE FOR SUSONO

Mail code4@susono.org

Contact

この活動に関するお問い合わせ